

2024 JLS 通信 春号

広島市障害者就労支援事業

新年度がスタートいたしました。このJLS通信では、3カ月に一度、JLSの行ってきた活動や、障害のある方の雇用に関わる情報をご紹介します。今年度最初の春号をお届けしますので、どうぞご覧ください。

1. 就労中の方へのインタビュー

広島市の就労支援事業として、公益法人での障害者の方の有期雇用事業があります。JLSはその定着支援を担当しています。今回は昨年3月末まで広島市心身障害者福祉センターにお勤めで、その後、社会福祉法人西中国基督教社会事業団広島基督教社会館に、放課後児童クラブのスタッフとして就職されたDさんにお話を伺いました。

JLS(以下J). もうすぐ一年ですね。どうですか、一年間経って。

Dさん(以下D). 子どもが大好きなので、就職できて嬉しいです。

J. 仕事をする上で気を付けているのはどんなことですか？

D. 安全が第一なので、一番気を付けているのはその部分です。

次に、子どもと一緒に楽しめるように、ということ。話を聞いてあげて、そばにいて安心する、と言ってもらえるように…そういうことに気を付けて仕事しています。

J. 以前は、心身障害者福祉センターにお勤めでしたよね。

D. そうです。

J. 前職のおかげで成長できたと思うことはありますか？

D. 成長というか、前の職場では報連相ができなくて、それじゃだめだな、と。今は、自分から相談をするようにがんばっています。あとは、自分なりに考えて、動けるところは自分から動くようになりました。

J. じゃあ、前の職場で実感した課題を、今は気を付けることができてきているという感じですね。

D. そうですね。

J. 以前から感心していたのは、仕事を休まないことです。

D. 今の仕事でも、インフルエンザで休んだことはあったけど、それ以外は休んでないです。

J. 今、仕事で困っていることはありますか？

D. そうですね…外出のときなど、リーダーさんたちは子どもが道路にはみ出そうになったときに、「危ないよ」といった声掛けをしているんですけど、私はまだできなくて。私も言えるようになりたいな、と。あとは、山登りは頑張らないと。

J. 竜王公園で行われている外出するイベントですね。体力面が心配と、以前言っていましたね。

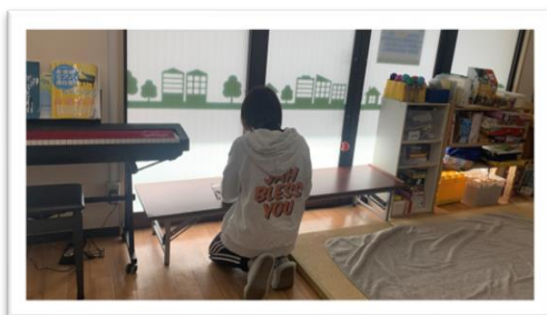
D. この前は、出発時に、仲の良い職員さんに「頑張って！行ってらっしゃい」って声を掛けてもらって、頑張れました。

J. 今後の目標はありますか？これが買いたい、とか。

D. 子どもと一緒に遊んでいてレゴブロックが楽しいなあって。レゴを買いたいです。自分もハマってしまったので。

J. あともう一年がんばったら、取れる資格があるんですね？

D. そうです。実務経験が2年になったら、放課後児童支援員認定資格研修の受講ができるので、それはぜひ取りたいと思っています。がんばりたいです。



★子どもたちが帰ってくる前に消毒作業をすませます

リーダーSさん・Aさんコメント

Sさん(以下S). 成長が著しいなと思います。はじめは遠慮がちで指示待ちだったけれど、どんどん仕事を覚えていって、自分から『やってみます』ということも増えてきて。涙ながらに反省する場面もあったけど、反省をそのままにしない、という姿勢は僕らも見習わないといけないな、と思います。子どもからの信頼も厚いし、個人的には、(シフトを見て)『今日はDさんがいるから大丈夫だな』と思うくらいです。最初は、人前でごはんを食べられなくて、配慮として、その時間は別室で休憩にしていたけれど、自分から『大丈夫です』と言ってきて、子どもたちと一緒に食事ができるようになって。そういう本人の努力の結果が出てきています。

Aさん.すごく心強いですよ。子どものことを本当によく見てくれるし。何より意欲があるから、こちらと一緒にやりやすい。『こういう想いで一緒にやっっていこう』というところに同じように響いてくれるから、仲間として嬉しいです。

J.何か、これからの課題やアドバイスはありますか？

S.本人も挙げていたようだけど、『危ないよ』といった声掛けの部分だけだと思います。子どもの様子はよく見てくれていて、何かあったときには僕らにすぐ報告してくれるので、僕らの方もトラブルを解決しやすい状況になっています。だから、あと一歩じゃないかな、自分が声を出す、というところまで。

☆お話を伺って・・・

もともと、心身障害者福祉センターの次の就職先の希望として、子どもと関わる仕事がしたい、という思いがありました。

ご縁があって、広島キリスト教社会館で働くことになりましたが、やりがいを持って日々を過ごされていることが伝わるインタビューになりました。

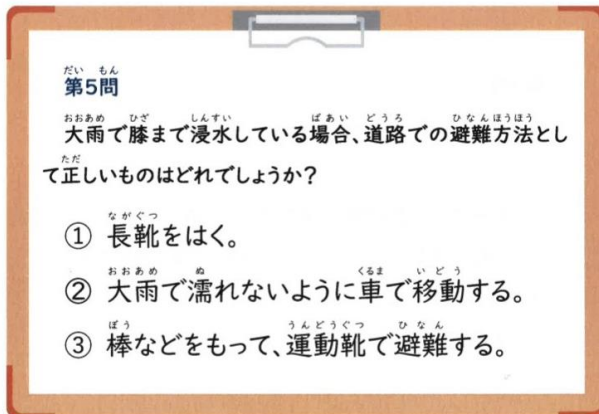
※広島キリスト教社会館は、体験実習の受入協力施設です。現在募集求人もありませんので、直接事業所に雇用や実習等のお問合せをすることは、くれぐれもお控えください。

2. 2023年度 第4回『在職中の障害のある方の交流会』実施報告

去る3月1日(金)に、広島市総合福祉センター BIG FRONT にて、2023年度最後の第4回『在職中の障害のある方の交流会』が開催されました。

お仕事終わりの方も多い、金曜夜の日程でしたが、定員ちょうどの20名のお申込みがあり、体調不良で欠席された方を除き、当日は19名の方にご参加いただき、賑やかな会となりました。

今回は、グループトークに先立って、防災の基礎知識を学ぶ『防災クイズ』を実施しました。企画した時点では、2024年の元旦に再び大きな地震が起ころうとは予想もしていませんでしたが、改めて災害対策の重要性を実感した中での取り組みとなりました。その中から1問ご紹介します。正解はこの通信のどこかに書いてありますので、探してみてください！今回参加者の方々にお配りしたハンドブック『たちまち防災』は、各区役所等でも配布していますので、ぜひ皆さまもお手に取られてみてはいかがでしょうか？



後半のグループトークでは、4つのグループに分かれてお話をさせていただきました。趣味の話題、仕事の悩みなど、それぞれのグループで盛り上がりました。「クローズで働いているので、なかなか職場では言えない話があった」といった言葉も聞かれ、ジョブ・ライフサポーターとしても嬉しく思いました。

次回交流会は、5月18日(土)を予定しております。

ジョブ・ライフサポーター一連絡先

《中・西・安佐南・安佐北・佐伯区エリア》
社会福祉法人 広島市手をつなぐ育成会
広島市西区打越町17-27
TEL(082) 537-1088
FAX(082) 537-1090

《東・南・安芸区エリア》
社会福祉法人 つつじ
広島市東区若草町15-20
TEL(082) 537-1088
FAX(082) 537-1090